

脊振全山縦走

【報告者】K出

【日時】2017年4月1-2日

【天候】晴れのち曇り、雹、雪ときどき雷そして雨～最終的には晴れ

【参加者】I丸、O原、T橋、K出

《コースタイム》

4月1日(土) 0655 原田駅出発→0810 基山→1130 九千部山→1315 七曲峠→1340 坂本峠→1500 蛤水道(水場)→1525 蛤岳→1652 脊振山(30分休憩、自動販売機あり)→1826 椎原峠→1916 獵師岩山→2020 金山→2141 城の山→2156 三瀬山→2219 三瀬峠→2419 井原山→2547 雷山→2630 雷山避難小屋(泊)

4月2日(日)0500 起床、0545 出発→0646 長野峠→(0809 水場)→0849 羽金山→1059 荒川峠→1204 女岳→1325 浮嶽→1434 白木峠→1511 十坊山→1630 まむしの湯

《 報 告 》

「脊振全山縦走」。響きがかっこいい！せっかく山岳会に入会したのだからいつかは参加してみたいと憧れていましたが、めでたくこの度参加できることになりました。しかし私個人のこれまでの最長行動時間は9時間。1,2時間の仮眠のみで30時間を超える縦走なんて可能なものか…。期待と不安を胸に、軽量化を最優先にして20lザックで臨みました。

4月1日朝6時55分に原田駅を出発。早々にO原さんがまむしでの宴会を楽しみにしていたのが衝撃的でした。凄すぎる。駅から基山の登山道までが若干わかりづらいのですが、I丸さんの迷いのない先導のおかげで問題なく進行。基山の後九千部山へ。緩やかな登山道でのんびりハイキングといった趣でした。蛤水道で水を補充し、脊振山へ。脊振山は自衛隊基地のため山頂を迂回しないといけないのですが、その木道からの眺めは広々としていて気持ちよかったです。脊振山は寒かった…それまで半袖で行動していましたが、さすがに冬仕様に衣装チェンジ(一枚羽織った)。脊振山の自動販売機にはあたたかい飲み物もあり、冷え切った体に温かい紅茶花伝が染み入りました。18時50分頃日没。ヘッドンを装着し、O原さんとI丸さんの明るい光に照らされつつ歩き続けました。暗くなってからも全く迷いのないO原さんの先導のおかげで安心して歩くことができました。金山に至るまでの登山道は木々の合間から福岡の夜景を眺めることができ、絶好の癒しポイントです。今思えばこの時が一番幸せだったような…。もともとは三瀬峠でビバーク予定でしたが、夜間雨予報だったのと、金山付近からガスが出てきており危険な香りがしたため雷山避難小屋まで一気に進むことに。

三瀬峠からの登山道が一部工事中で閉鎖されていたのですが、事前のT橋さんの情報収集のおかげでつつがなく迂回。そしてここで突然の雹。負けることなく歩き続けましたが、天候は悪化の一途でポタ雪が降り、それを強風があおるという最悪のコンディションでした。井原山～雷山では2cmほどの積雪も！それほど気温が低くなかったのは不幸中の幸いでしたが、雨雪のせいで道もドロドロのズルズルで、私の心は折れまくりました。しかしここで止まっても寒いばかりで凍死してしまうし、いずれにせよ雷山避難小屋までは歩き続けるしかない…。あまりに辛かったため私の縦走は雷山で終了しようとひっそり決意を固めつつ死んだ目で歩き続けました。皆様の暖かいサポートのおかげで瀕死ながらもなんとか26時に雷山山頂に到着。しかしものすごいガスで全く視界がなく、避難小屋の場所がわかりません。ここでI丸さんのスマホが大活躍。GPS様のご指示に従い、30分後によく避難小屋に到着しました。その日はほかに誰もおらず、板間に銀マットまでありしっかり横になって休むことができました。27時就寝。私はありったけ（半袖Tシャツ＋薄手長袖＋薄手ダウン＋雨具）着こんだ上にエマージェンシーシートを巻いてシュラフカバーで横になったのですが、エマージェンシーシート内の結露がすごく、起きた時にはしっとり全身が濡れていました。どちらかといえば失敗…。まあそれでも結構眠れました。O原さんも爆睡できたとのこと。T橋さんは新聞紙にくるまるスタイルで防寒対策されていましたが、新聞紙は全然役に立たないそうです。I丸さんも寒さで一睡もできなかつたようでした。何はともあれ5時起床。雷が鳴っていて行動開始を躊躇する場面もありましたが、日中は好天であるとの予報を信じ、5時45分に出発。少し休めたおかげで心身ともに回復した私は結局そのまま皆と一緒に縦走を継続することにしました。空は少し明るくなっており、小雨もばらつく程度で台風一過(台風じゃないけど)な朝でした。そして雷山から長野峠まで延々と急激かつ単調な登山道を下ると、いよいよ今回の縦走の大本命、羽金山です。羽金山の悪口は縦走前から幾度となくI丸さんから伺っていたのでこちらもそれなりの気持ちの準備をして向かったのですが、登りはまだしも下りが…！登っては下り、また登り、下り…これももう羽金山じゃないですよ、別の山ですよ？と5回くらい思いました。元気チャージした直後にもかかわらず登りに2時間、下りに2時間…今回の縦走の一番の難敵でした。さらにその後の女岳、浮嶽の上り下りもきつかった…真綿で首を絞められるような辛さでした。まむし(の湯)でのビールを目前にしたO原さんがものすごいスピードで進んでいくのに全く追いつけず…。I丸さんとT橋さんは朗らかにいつもの調子でおしゃべりが弾んでいました。ひとり限界に近付いていた私は無になり、自分を俯瞰で見つめるという普段経験できない境地に達していました。まさに修行！今年に入って4回目の十坊山でしたが、さすがに70キロ歩いた後の十坊山はこれまでとひとあじもふたあじも違ってなかなか厳しかった

たです。それでも足を止めさえしなければいつかは頂上にたどり着くと信じ...15時11分十坊山登頂。曇ったり晴れたりを繰り返していた空も、この時は明るく晴れ渡っており、山にも祝福されたような心持ちになりました。下りはゆるゆると、軽口をたたきながら下山しました。

そしてまむしの湯で温泉後のビールの美味しかったこと！ものすごい達成感を得られました。I丸さん、O原さん、T橋さんというビッグな先輩たちにサポートなくしては不可能だったのは間違いのないけれど、自分の脚で70数キロという長距離を歩ききれたことは大きな自信になりました。次は逆走で行ってみたいです。来年の脊振全山にむけて、屈強なヤマヤをめざして足腰を鍛えていこうと思います。

来年に向けての覚え書き。

- ① ストックは必須
- ② ポッカレモンが長期縦走のリフレッシュに最適
- ③ スマホに地図アプリは入れて準備しておく
- ④ 今回 total70 数 km, 33 時間半の縦走で計 2300kcal の食料を消費。ゼリーやチョコレート、バーも悪くないが個人的には米やパンなど少し重くなっても食べごたえのある食料をもう少し持って行った方が元気になりそう。アルファ米1パック、パン3個くらい。

《概念図あるいはルート図》

